

普及活動情勢報告（令和5年8月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

ライスセンターを勉強しよう

・・・（株）大宮産業が視察研修・・・



7月18日、四万十市西土佐地区の（株）大宮産業の役員4名と地区住民5名、関係機関2名が土佐清水市の（農）ふぁー夢宗呂川のライスセンターで視察研修を行いました。

農業改良普及課は、（株）大宮産業が新たにライスセンター事業に取り組むことから、視察研修を行うよう提案しており、今回の研修となりました。

参加者からは、「この設備で何haまで対応できるのか」、「活用した補助事業の自己負担分はどうやって確保したのか」、「稲刈りの時期も視察したい」等の意見が出ました。

今後は、他の組織の乾燥調整施設の視察研修やライスセンター事業の収支計画作成等を行う予定です。

良いイチゴは良い苗から！

・・・JA中村いちご部会 育苗現地検討会・・・



7月25日、JA高知県からJA中村いちご部会の育苗現地検討会が開催され、生産者8名、関係機関6名が参加しました。

会では、生産者は場で育苗の状況を確認し、栽培についての意見交換を行った後、JA北部事務所で関係機関との情報共有を行いました。

農業改良普及課は、育苗期における炭そ病対策について情報共有を行い、生産者からは炭そ病と病気発生の湿度条件に関する質問等がありました。

今後は、各部会員が定植本数を確保できるよう、JAと協力し、巡回等で支援していきます。

ユズの夏梢剪除では必要なものは残して！・・・幡多地区営農改善協議会果樹部会・・・



7月26日、四万十町古城地区でユズの夏梢剪除の指導員向け研修会（参加者：管理者を含めて9名）が行われました。

農業改良普及課からは、高木を切り下げた後に多数発生した夏梢の処理について説明し、夏梢の処理方法について指導を行いました。また、高いユズ樹を低くする樹形改善の方法を紹介しました。その後、各自で剪定方法、農薬の使用方法などについて意見交換を行いながら実際に夏梢を剪定しました。

今後は、翌春に剪定研修会を行う予定です。

商品開発でまず考えるべきことは？ ・ ・ 6次産業化セミナー実践コース ・ ・



7月28日、須崎市で6次産業化セミナー実践コースが開催され、管内で6次産業化に取り組む事業者2組が参加しました。

セミナーでは、参加事業者4組のプレゼンテーションによる自己紹介のほか、専門アドバイザーから売り場から学ぶ商品づくりのヒントや原価計算の考え方について講義がありました。

農業改良普及課は、セミナー終了後の個別相談に参加し、それぞれの事業者における課題の整理や課題解決に向けた取組について提案・協議を行いました。

参加者からは「商品の製造工程表を作成し、現行の製造方法を見直していきたい」などの意見が出ました。

農業改良普及課は、今後もセミナー受講を通じた課題解決に向けて関係機関と連携しながら支援していきます。

新規就農者の1年間を振り返ってみよう！ ・ ・ 四万十市新規就農者の就農状況を確認 ・ ・



8月2日、四万十市、JA、農業改良普及課の担当者と構成される新規就農者支援チームが、四万十市内における就農後5年以内の農家6件を巡回しました。巡回では、去年の収量や所得金額を確認するとともに、栽培の課題や今後の改善点等を共有、検討しました。

新規就農者からは、「作業に大分慣れてきた」、「去年の反省を活かし、病虫害防除や温度管理に取り組むことで、収量を向上させたい」と前向きな意見が出ました。

今後も新規就農支援チームは、新規就農者の早期経営安定に向けた支援を行います。